

① 指定等願・防止予定区域管理票

長
辺

〇〇〇〇 第 XX 号 □□XX年XX月XX日				
伝搬障害防止区域の（指定・指定変更・指定解除）願				
総務大臣殿				
住所 〒				
氏名				
電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇				
伝搬障害防止区域の（指定・指定変更・指定解除）について				
下記の電波伝搬路について、伝搬障害防止区域の（指定・指定変更・指定解除）を願いたく、別添のとおり資料を提出します。				
記				
（指定・変更・解除）を希望する電波伝搬路				
電波伝搬路の名称	周波数帯	無線通信の種類	理由	備考
〇〇～〇〇	〇〇GHz帯	〇〇〇用 (注1)	(例) 無線区間新設のため	(注2) (注3)

短 辺（日本工業規格A列4番）

- 注1 電気通信業務用、放送業務用、人命・財産の保護用（水防・消防用、防災行政用、航空保安用、海上保安用、警察用、治安維持用のいずれかについても併せて記載すること。）、気象業務用、電気供給業務用、列車運行業務用のいずれかを記載すること。
- 2 指定解除願の場合は、免許番号及び免許年月日を記載するとともに、当該電波伝搬路の指定に係る告示番号及びその年月日を記載すること。
- 3 一の電波伝搬路を共用する他の免許人等がいる場合（一の免許人等により他の免許人等を取りまとめている場合を含む。）は、当該免許人等の氏名又は名称を記載すること。
- 4 反射板がない場合は、別添2の添付を要しないものとする。
- 5 指定解除願の場合は、別添の添付を要しないものとする。
- 6 不要な文字を削除すること。

(別添1)

防止予定区域管理票(1)

免許人名		ルート番号 □-□□□-□□□□□		
局番号	局番号 1	局番号 5		
免許の番号	号	号		
免許年月日	年 月 日	年 月 日		
固定局名(漢字)				
固定局名(カナ)				
使用周波数				
占有周波数帯幅				
都道府県名				
設置場所住所				
空中線位置	<input type="checkbox"/> 個別0 <input type="checkbox"/> 代表(鉄塔中心) 1	<input type="checkbox"/> 個別0 <input type="checkbox"/> 代表(鉄塔中心) 1		
空中線位置 (注1)	<input type="checkbox"/> 緯度経度	E ° ' "	E ° ' "	
	<input type="checkbox"/> XY座標値	原点 X m () Y m	原点 X m () Y m	
下り方向	空中線口径		m	
	空中線種別等	送信空中線 → (偏波) →	受信空中線	
	空中線地上高		m	
	空中線海拔高		m	
	(注2)補正值	<input type="checkbox"/> 空中線中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
		<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m
	(注2)SD1	SD1間隔	SD1 m	SD1 m
		<input type="checkbox"/> SD1中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
	(注2)SD2	<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m
		SD2間隔	SD2 m	SD2 m
	(注2)SD1	<input type="checkbox"/> SD1中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
		<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m
(注2)SD2	<input type="checkbox"/> SD2中心補正值 補正角	° ' "	° ' "	
	<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m	
上り方向	下り方向に同じ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	空中線口径		m	
	空中線種別等	受信空中線 ← (偏波) ←	送信空中線	
	空中線地上高		m	
	空中線海拔高		m	
	(注2)補正值	<input type="checkbox"/> 空中線中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
		<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m
	(注2)SD1	SD1間隔	SD1 m	SD1 m
		<input type="checkbox"/> SD1中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
	(注2)SD2	<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m
		SD2間隔	SD2 m	SD2 m
	(注2)SD1	<input type="checkbox"/> SD1中心補正值 補正角	° ' "	° ' "
<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值		X m Y m	X m Y m	
(注2)SD2	<input type="checkbox"/> SD2中心補正值 補正角	° ' "	° ' "	
	<input type="checkbox"/> X値・Y値補正值	X m Y m	X m Y m	
A/D識別	<input type="checkbox"/> 伝送方式	局間距離		
指定範囲 (局番号1の局からの距離)		~ ~ ~		
告示 年月日	告示 番号	第 号	区分 () 項・ 区分 ()	
備考	(注3)			

- 1 空中線位置については、緯度経度又はXY座標値(測量法に規定する平面直角座標系)の一方を選択し、記載し、緯度経度又はXY座標値は±1m以内の精度とすること。
- 2 空中線位置又はSD空中線位置に係る補正值を記入する必要がある場合は、中心補正值・中心補正角又はX値・Y値(測量法に規定する平面直角座標系)補正值の一方を選択し、記載すること。
- 3 空中線位置を算出した際に使用した測定方法について、備考欄に①実測、②1/25000、③1/10000、④1/5000、⑤1/2500、⑥不明、別に記載すること。なお、①は現地測量の結果である場合、②~⑤は当該縮尺の地図から算出した場合、⑥は既出のデータで算出時の経緯が不明(既設無線局の場合等)な場合である。

(別添 2)

防止予定区域管理票 (2) (反射板情報)

免許人名		ルート番号 □-□□□-□□□□□	
局番号	局番号 2	局番号 3	
反射板名 (漢字)			
反射板名 (カナ)			
都道府県名			
設置場所住所			
反射板位置	□個別 0 □代表 (鉄塔中心) 1		□個別 0 □代表 (鉄塔中心) 1
(注 1) 反射板位置	□緯度経度	E ° ' "	E ° ' "
		N ° ' "	N ° ' "
	□XY座標値	原点() X m Y m	原点() X m Y m
反射板対角径		m	m
反射板地上高		m	m
反射板海拔高		m	m

局番号	局番号 4	備考 (注 2)	
反射板名 (漢字)			
反射板名 (カナ)			
都道府県名			
設置場所住所			
反射板位置	□個別 0 □代表 (鉄塔中心) 1		
(注 1) 反射板位置	□緯度経度	E ° ' "	
		N ° ' "	
	□XY座標値	原点() X m Y m	
反射板対角径		m	
反射板地上高		m	
反射板海拔高		m	

注 1 反射板位置については、緯度経度又はXY座標値 (測量法に規定する平面直角座標系) の一方を選択し、記載すること。

2 反射板位置を算出した際に使用した測定方法について、備考欄に①実測、②1/25000、③1/10000、④1/5000、⑤1/2500、⑥不明、別に記載すること。なお、①は現地測量の結果である場合、②～⑤は当該縮尺の地図から算出した場合、⑥は既出のデータで算出時の経緯が不明 (既設無線局の場合等) な場合である。

② 防止予定区域に係る地域名称表

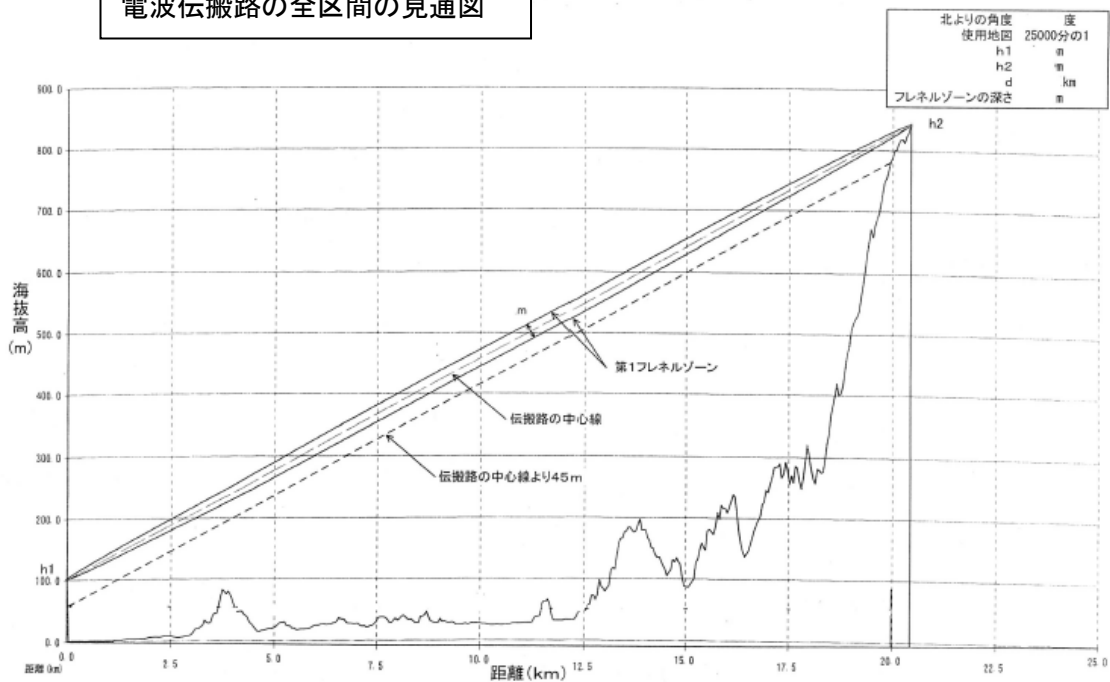
(別添3)

防止予定区域に係る地域名称表

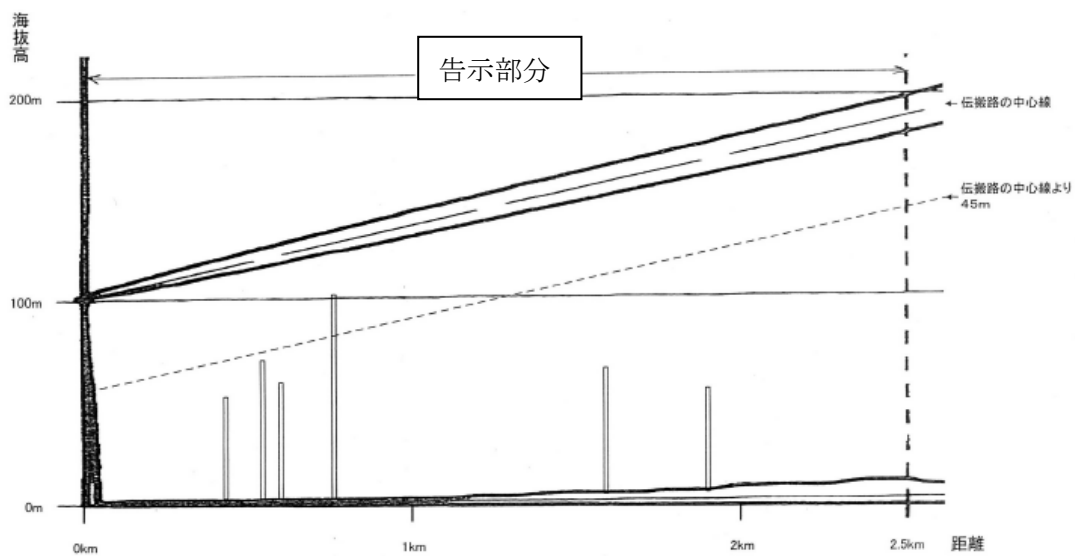
局名	1からの距離	行政区画名
1. ●●	0. 000km	○○県
2. ××	1. 400km	××市 △△3丁目、□□2丁目
	1. 700km	○○県
	8. 400km	××市 大字▽▽字□□
	10. 700km	××県
	10. 800km	●●郡
		◆◆町 大字△△字□□

③ 防止予定区域に係る電波伝搬路の全区間の見通図及び指定希望区間の拡大見通図

電波伝搬路の全区間の見通図



指定希望区間の拡大見通図



- ④ 防止予定区域における既存の高層建築物等（法第 102 条の 3 第 1 号に規定するもの）の情報を記載した書類（下記は一例です）

長
辺

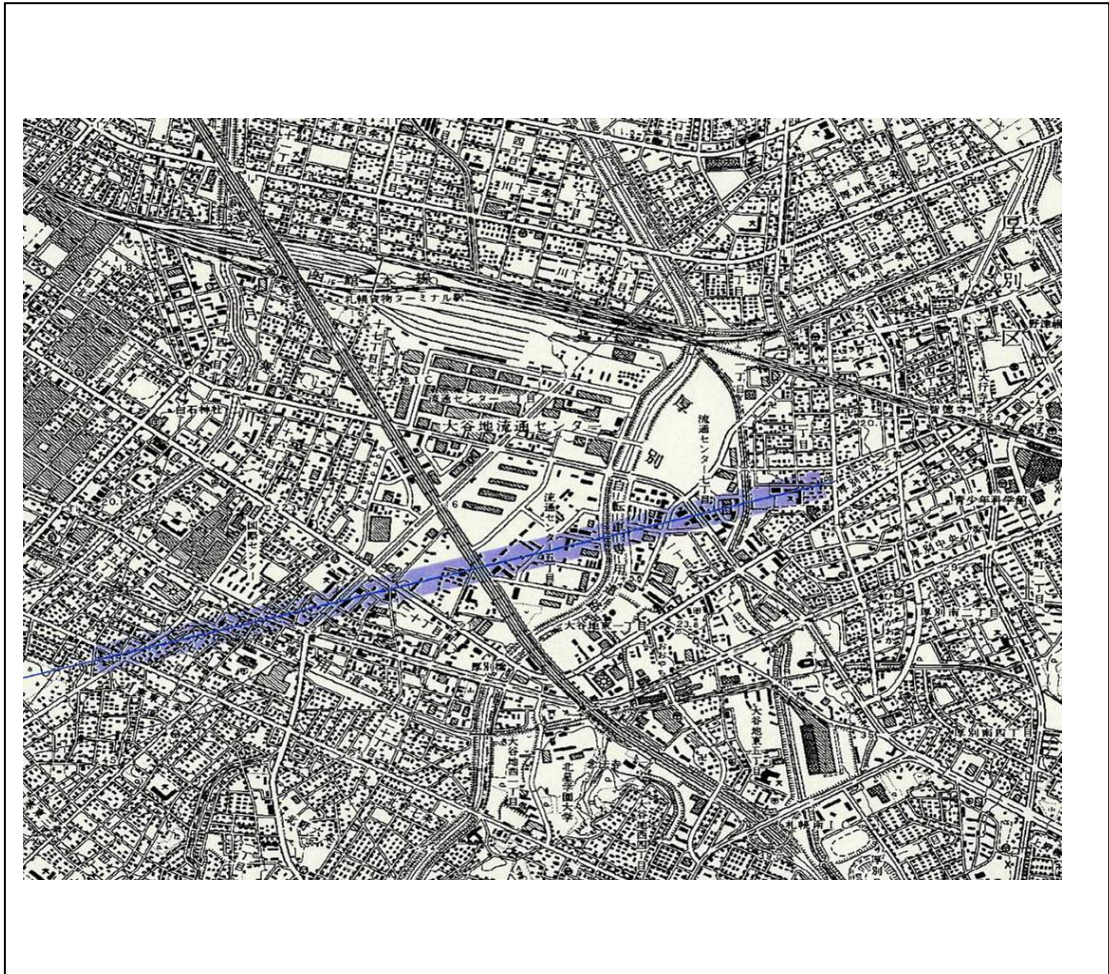
指定を希望する区域における既存の高層建築物等の情報	
1	電波伝搬路の名称
2	指定予定範囲内の高層建築物等（都市計画等）の概要
(1)	建築主の名称又は商号
(2)	建物（都市計画）の名称
(3)	高層建築物等の所在地の住所及び指定範囲の起点からの距離
(4)	当該建築物の最高部の高さ
	地表高 m
	海拔高 m
	電波伝搬路までの クリアランス m

日本工業規格 A 列 4 番)

注 不要の文字を削除すること。

⑤ 防止予定区域を表示する図面

長
辺



注1 国土地理院が発行する縮尺1／25,000の地図上に、指定希望する防止区域を記載すること。

2 該当する電波伝搬路を直線で表示し、防止区域の指定を希望する区間を薄い緑色で表示すること。